

第13章 障害者福祉

1 障害者数の推移 (表1、図1) 【統計編 16-第1表、第6表、第11~12表】

令和5年度では、身体障害者が66,031人、知的障害者が17,014人、精神障害者が35,603人となっており、知的障害者及び精神障害者数は年々増加傾向にある。

表1 障害者数の推移

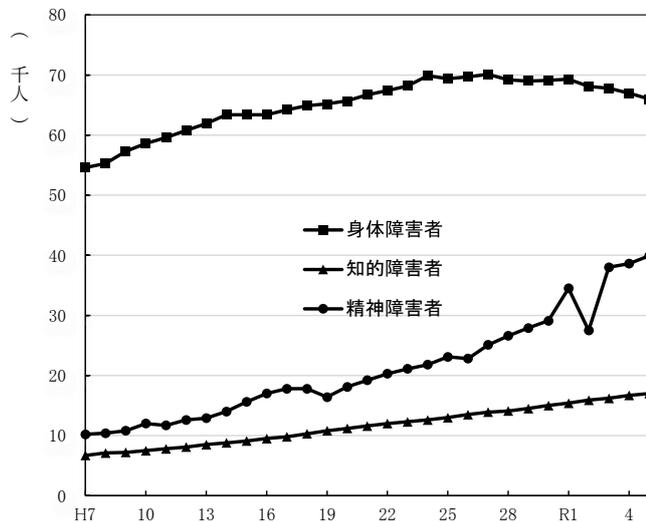
(単位:千人)

年次	身体	知的	精神
平成7	54.6	6.7	10.2
12	60.8	8.1	12.6
17	64.2	9.8	17.8
22	67.4	12.0	20.3
27	70.1	13.9	25.1
令和2	68.1	15.9	27.5
3	67.8	16.2	37.9
4	67.0	16.7	38.6
5	66.0	17.0	39.9

【出典】福祉行政報告例他

注) 身体障害者及び知的障害者は手帳交付台帳登録数、精神障害者数は通院者数(自立支援医療による通院医療費交付決定件数) + 在院患者数による推計数である。

図1 障害者数の推移



【出典】福祉行政報告例他

2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移 (表2、図2)

【統計編 16-第2表】

身体障害者手帳交付台帳登録数の総数は、令和5年度末現在で66,031件となっている。

内訳は、肢体不自由が30,262件(構成比45.8%)で最も多く、次に内部障害が24,057件(同36.4%)で続いている。

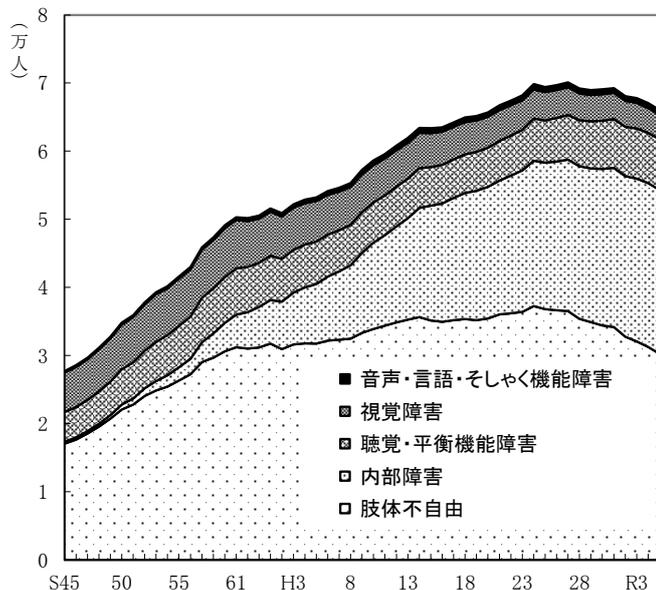
表2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数

(令和5年度末現在)

障害の種別	登録数 (割合(%))
肢体不自由	30,262 (45.8)
内部障害	24,057 (36.4)
聴覚・平衡機能障害	7,425 (11.2)
視覚障害	3,603 (5.5)
音声・言語・そしゃく機能障害	684 (1.0)
総数	66,031

【出典】福祉行政報告例

図2 障害の種別に見た身体障害者手帳交付台帳登録数の推移



【出典】福祉行政報告例